

国際交流員ダニエルの

KANGA KOURYUU

カンガ交流



オーストラリアの動物

オーストラリアにはたくさんの動物が暮らしていることを知っていますか。カンガルーやコアラ、ワニ、ディンゴなどが有名で、皆さんも聞いたことや見たことがあると思います。植物、哺乳類、爬虫類、両生類の80%以上はオーストラリアの固有種で、ほかの場所では見られないものだそうです。また、鳥類では代表的なエミューをはじめ、800種以上が生息しています。

今回は、鳥類の中でも私が特に興味を持ったオーストラリアの固有種「コトドリ」を紹介します。

興味深い鳥「コトドリ」

コトドリは、タスマニアと東部の熱帯雨林の地域に約150万年前から生息し、体長1mほどの長い尾をもつキジに似た鳥です。オスにはレースのような尾羽があり、それが豎琴に似ていることが名前の由来になっているそうです。コトドリの寿命はおよそ20年。浮気をしないといわれている誠実な鳥で、オーストラリアの10セント硬貨の裏にもデザインされています。



コトドリのものまね

コトドリのオスは恋の季節を迎えると、落ち葉や枯

オージー・スラング・タイム

オーストラリアのスラングを学ぼう

"Strewth"



読み方 「ストゥルース」

意味 「びっくりした！」

「Strewth」とは、オージーがびっくりしたときや興奮したときによく使っている絶叫の言葉です。世界的に有名な環境保護運動家でドキュメンタリーメーカーのスティーブ・アーウィン氏は、動物と出会うときに興奮して「Crikey! (クライキー)」や「Strewth」とよく絶叫していました。今回はとてもユニークな鳥のことを紹介するので、その鳥の能力が分かったら、皆さんも「Strewth」と言ってみてください。

れ木などをかき集めた1mほどの塚の上で、踊りや見事なさえずりで求愛します。コトドリは、ものまねがとても上手でレパートリーが多いオスほどよくモテます。ときにはカラスやカワセミなどのさえずりを高い精度でまねして、混乱を引き起こすこともあるそうです。驚くことにカメラのシャッター音やチャイム、芝刈り機、チェーンソーなどの機械の音もまねすることができます。

オーストラリアに行ったときは、コトドリの鳴き声を聞いてみてください。ただし、コトドリの生息地で自分の子どもの名前を呼ぶと、そっくりな声真似をされ、子どもが間違えることがあるので注意が必要です。

大盛況! クリスマスパティー

12月16日、県内のALTなどと一緒に東部公民館で催しました。会場には町内外から約70人が集まり、バイオリンとピアノの演奏にあわせて歌を歌ったり、アフリカ太鼓の演奏にあわせて楽しく体を動かしたりしました。メインイベントのポットラックでは、みんなで持

ち寄った料理をお腹いっぱいになるまで食べながら、会話を楽しみました。

ゲームなどを楽しんだ後は、特別ゲストのサンタさんが登場。子どもたちは大喜びでした。

今後もさまざまなイベントを企画しますので、皆さんぜひ参加してください。

